

むらいろは

interview



ここさいむらいろは
主任

か ん ち え
金見 智恵

ここさいむらいろはにて生活相談員および介護業務に携わり、主任として事務所運営の中核を担う金見智恵。長年にわたり介護業界に身を置いてきたが、この世界に飛び込んだきっかけは小学生の頃にまさかのぼる。

勇気を手に入れるために

子どもの頃から人見知りだった金見は、ある日電車で「どうぞ」と一声かける勇気が出ず、高齢者に席を譲れなかった。「声をかけたいけれど、かけられない」とうつむき唇を噛みしめた記憶は、今でもありありと心に焼きついている。

成長の過程で介護の仕事を知るにつれ、「自分が進むべきなのはこの道だ」と確信するようになり。高校卒業後は専門学校に進学し、介護福祉士の資格を取得してグループホームに就職。その後は病院に活躍の場を移し、知識と経験を培っていった。

一人ひとりと縁を大切に

「介護」の視点を持ちつつ、金見はあくまでも目の前の相手との「人付き合い」という気持ちをお忘れずに、一人ひとりと向き合ってきた。その思いが通じたエピソードがある。以前勤務していた病院で、金見

は一人の入院患者と出会う。入院中の不安や心細さを少しでも解消できるよう、その患者に話し相手として接した。生い立ちや仕事、家族など話題は多岐にわたり、おむつ交換や入浴など患者がどうしても羞恥心を感じる場面では、あえて他愛ない雑談で気持ちを紛らわせるよう意識。そうするうちに信頼関係が築かれ、いつしか「お前じゃないとダメなんだよ」と指名が入るまでになった。料理人だったという患者から作り方を教わったホワイトソースは、今でも金見の家の食卓にたびたび登場する定番メニューだ。

笑顔での再会に感謝

一歩ずつ前進を重ねる金見だったが、結婚や出産といったライフスタイルの変化に合わせて働き方を見直すように。そこで出会ったのが、株式会社こみケアだ。通勤の便もよく育児との両立も可能なこの職場に魅力を感じ、金見はこみケアの一員として次の一歩を踏み出したのである。

現在は介護現場の最前線に立ちつつ生活相談員としての業務にも従事し、主任として職場全体に目を配る。忙しい毎日を駆け抜けるモチベーションは、何と言ってもゲストと顔を合わせることだ。

「高齢になればなるほど、いつ何

が起こるかわかりません。別れ際にかける『またお会いしましょうね』という言葉が実現して笑顔で再会できるのは、決して当たり前なことではない。そう思うと、ゲストの皆さんと会えることが本当に嬉しく感じられます」。

次のステージへ

「主任になってから、業務の量も幅も広がりました。作業効率を上げて、ゲストの皆さんと過ごす時間を少しでも増やしたいと考えています」。

そう語る金見の目標は、ざばりケアマネジャーの資格取得。挑戦はまだ始まったばかりだ。

これからも前を向き、走り続けていく金見を応援したい。

